

|   |   |
|---|---|
| <p><b>【技術の名称】</b><br/>                 SSC-Pile工法<br/>                 ー小口径場所打ちコンクリート<br/>                 柱状補強体を用いた地盤補強工法ー</p> | <p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第12-03号<br/>                 性能証明発効日：2012年5月1日</p> <p><b>【取得者】</b><br/>                 千代田ソイルテック株式会社 株式会社シグマベース<br/>                 株式会社システムプランニング 株式会社奈良重機工事<br/>                 大東建託株式会社</p> |
|---|---|

**【技術の概要】**

本技術は、先端に特殊コーンを取り付けたケーシング（φ216.3mm）を所定深度まで回転・圧入し、ケーシング内に注入材（コンクリート、モルタル、セメントミルク+砕石のいずれか）を打設後、ケーシングを引き抜くことにより小口径コンクリート柱状体を築造し、これを地盤補強体として利用する地盤補強工法である。本工法を用いた補強地盤の支持力は、補強体単体の支持力のみを考慮する場合と、補強体単体の支持力に基礎底版下の未補強地盤の支持力を累加する場合がある。なお、補強体の支持力は、補強体周面の摩擦抵抗力のみとし、先端支持力は期待しないこととしている。

**【技術開発の趣旨】**

小規模建築物に採用されている柱状地盤補強工法のうち、セメント系固化材による地盤改良では品質確保や施工に伴い発生する残土の処理等の問題が、また、既製コンクリート杭では、生産工場からの杭材の配給確保や高止まり等の問題がある。本技術は、これらの問題を解決

するために開発したものであり、ケーシングを回転圧入することにより、ほぼ無排土で柱状補強体が施工可能であり、さらに、削孔径が確保されたケーシング内に注入材を打設するため、品質の安定した小口径コンクリート柱状補強体の築造が可能である。

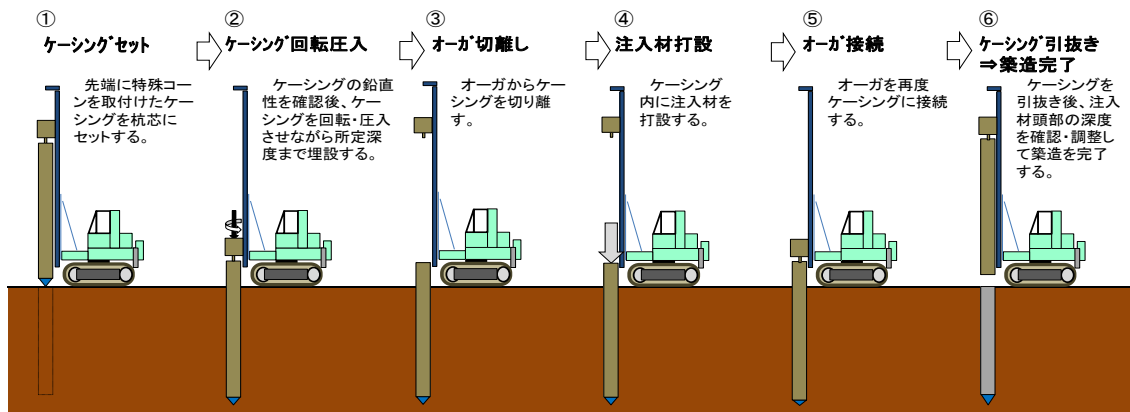
**【性能証明の内容】**

本技術についての性能証明の内容は、鉛直支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「SSC-Pile工法 設計・施工指針」に従って設計・施工された補強地盤の長期ならびに短期荷重時の鉛直荷重に対する支持能力は、同設計指針に定めるスウェーデン式サウンディング試験の結果に基づく支持力度算定式で適切に評価できると判断される。

**【SSC-Pileの仕様】**

- ・SSC-Pile径：φ216.3mm ・SSC-Pile長：8m以下
- ・注入材：コンクリート、モルタルまたはセメントミルク+砕石
- ・適用構造物：小規模建築物



**【本技術の問合せ先】**

千代田ソイルテック株式会社 担当者：菊池 秀行  
 〒340-0823 埼玉県八潮市古新田 325 番地

株式会社シグマベース 担当者：榎本 隆一  
 〒130-0026 東京都墨田区両国 2-1-7-1F

株式会社システムプランニング 担当者：佐々木 敏弘  
 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央 3-18-4 オフィス 21 4F

株式会社奈良重機工事 担当者：奈良 伸太郎  
 〒458-0023 愛知県名古屋市中区緑区鴻目 1-115

大東建託株式会社 担当者：植木 良明  
 〒108-8211 東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー

E-mail：kikuchih@t-soiltech.co.jp  
 TEL：048-995-9876 FAX：048-995-9803

E-mail：r-enomoto@sigmab.co.jp  
 TEL：03-3846-8294 FAX：03-3846-8296

E-mail：info@kk-sp.co.jp  
 TEL：022-374-9808 FAX：022-374-9235

E-mail：s-nara@narajuki.jp  
 TEL：052-877-8281 FAX：052-877-8271

E-mail：u y 030243@kentak.co.jp  
 TEL：03-6718-9175 FAX：03-6718-9076